

# 公 民 [ 倫 理 ] ( 100 点 50 分 )

2005 年 7 月 8 日 ( 金 ) 2 限実施

千葉県立千葉東高等学校 第 3 学年 1,2,3,4,5 組+理系倫理選択者対象

Produced by K.Kataoka

## 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

学年、組、名前を記入する。

学年、組の該当個所をマークする。

出席番号をマークする。(10 番以上は 10 の位と 1 の位の 2 カ所)

男女の欄をマークする。

1.2.3 枚目のところはマークしない。

停・欠・遅・早のところはマークしない。

機械の読みとりミスの確認のため、解答欄はマークの左側に番号を記入しておく。

なおマークと数字の記入が異なる場合はマークを優先して採点します。

以上が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。
- 5 以下の通り補習を実施します。希望者は出席のこと。

7月12日(火) 13:00~16:30 社会科教室にて「思想の源流分野」補習

7月14日(木) 朝7:20~8:15 社会科教室にて第2回「現代社会分野」補習

# 倫 理

( 解答番号 [ 1 ] ~ [ 50 ] )

第 1 問 次の文章を読み下の問い ( 問 1 ~ 問 1 0 ) に答えよ。( 配点 22 )

イエスは敬虔な (a)ユダヤ教徒の家に生まれ育った。当時一般のユダヤ教徒の間に広まっていた信仰に終末観があった。元来ユダヤの民は、神の [ 1 ] であるというイスラエル固有の民族信仰をもっている。悪のこの世界が終わり、神自身の支配、神の国の到来が待望された。このとき終末の審判があり、死者も復活して、義(ただ)しいユダヤ教徒がこの国の民となる。この神の国をもたらし、その王となるのがメシアである。メシアのヘブライ原語「マーシーアハ」は [ A ] の意味であり、古来「王」をさす。この終末観では「ユダヤの救い主」の内容をもつ。

イエスの活動は福音と自他ともによばれた。神の国の幸福の知らせを人々にもたらず働きである。(b)イエスの教えの中心は愛である。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くしてあなたの神を愛せよ」「自分を愛するようにあなたの (c)隣人を愛せよ」。この二つの愛に、(d)イエスの神観、人間観のすべてが要約されている。当時神の国の到来を切望するユダヤ教徒にとって、最後の審判で義とされ、神の国に入る資格を得ることが最大の課題であった。

ユダヤ教はこの資格を明確に律法によって規定した。義の神の前に義とされる人間は、律法を厳格に守る者でなければならない。指導者たる律法学者、パリサイ派は、全国の会堂で預言書と律法を教え、神の国に入る準備をさせていた。

しかしこの律法を学ばないアム・ハ・アレツ(田舎者)と蔑視されていた者、さらに律法に触れることも許されぬ罪人とよばれる人々がいた。これら社会的に差別された人々、彼らには神の国の扉は閉ざされていた。イエスの福音の対象はまさにこれらの人々であった。これは、イエスの神観、人間観が、ユダヤ教を超えたことによる。神は罪人をも包む愛の神である。(e)人の価値に上下はない。自らを捨てて神の愛のなかに入る(神を愛する)とき、愛の神の子として、隣人を愛する人となることができる。自らの罪を悔い、己を卑しくすることのできるこの世でもっとも恵まれない人々こそ神の前に義とされると説き、それらの人々に福音を説いた。しかしこれは、ユダヤ教の指導者には、律法を廃することと映り、さらにこの「罪人」に触れたイエス自身が「罪人」と同列視されることであった。ガリラヤ地方を中心とするイエスの活動は多くの人々に影響を与え、なかにはイエスをメシアと信じる者さえ出てきた。しかし、イエスが弟子とともにユダヤ教の中心エルサレムに上って活動を続けたとき、パリサイ派、また [ 2 ] の人々はローマ官憲に、政治的な反ローマのメシア運動家として、イエスを訴え、民衆を扇動して十字架の死に追いやった。

問1 文中の[ 1 ][ 2 ]に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの ~ のうちから一つずつ選べ。

[ 1 ] 子供 弟子 選民 垂迹

[ 2 ] アタナシウス派 サドカイ派 エレア派 スナナ派

( [ 2 ] 2005 年センター本試験より )

問2 下線部(a)に関して、ユダヤ教の聖典である旧約聖書の中の記述として正しいものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 3 ]

神の創った最初の男と女は神に背いて罪を犯したため、カナンの地を追放されて流浪の民となった。

神はアブラハムに対して、ひとり子イサクをいけにえとしてささげるように命じたが、従わなかったためエジプトに追放された。

ナザレの大工ヨセフの婚約者であるマリアのもとに天使があらわれ、聖霊によって神の子を身ごもったことを伝えた。

神はエジプトで奴隷にされていたイスラエルの民を救うためにモーセを選び、カナンの地へと導いた。

問3 空欄 [ A ] に入れるのに最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

[ 4 ]

預言者 油を注がれた者 神の子羊 ヤハウェは救いである

問4 旧約聖書の創世記に描かれている人間観として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 5 ]

社会的動物 (ズーン・ポリティコン) 象徴的動物 (アニマル・シンボリックム)

知恵ある人 (ホモ・サピエンス) 神の似姿 (イマーゴ・デイ)

問5 旧約聖書の出エジプト記に描かれている十戒の内容として適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 6 ]

あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。

あなたの父と母を敬え。

あなたは私のほかに、なにものをも神としてはならない。

目には目を、歯には歯を、手には手を、足には足をもって償え。

問6 下線部(b)に関して、イエスの解いた愛の思想として適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[7](2004年センター本試験より)

我々に親しい友人だけでなく、我々を嫌い敵対する者をも愛するようにしよう。自分を愛してくれる者を愛するのは当たり前であり、自分に敵対する者をさえ愛すべきなのである。

困っている人から哀願されたとき、我々はその人に同情し、その願いを聞き届けたいと思う。実現が難しくとも、我々はその憐れみの情を大切にすべきである。

道端にたたずむ流浪者のような、自分にとって疎遠な人などよりも、我々に親しく優れた人とともにいる方がよい、つまり同じ社会に生きる親しく優れた人々こそ我々は愛すべきである。

友人が暴漢などに襲われている場合、我々は速やかにその友人に手を差し伸べるべきである。たとえ命を落とすことになっても、友人を助けることは優れた愛である。

問7 下線部(c)の「隣人」とはどんな人を指しているのか。次のマザー・テレサの言葉を読み、最もよく合致するものを、下の ~ のうちから一つ選べ。[8]

(2002年センター本試験より)

この世の中で、私たちがたんなる数ではないと思うことは、素晴らしいことです。私たちは神ご自身の子どもです。インド、日本、アメリカ、ヨーロッパに住む人も、そして世界のどの地域に住む人びとも、みな、私の兄弟、私の姉妹なのです。あのととてもさびしそうな人、とても貧しい人、とてもかわいそうな人、そしてとても偉い人も私の姉妹、私の兄弟です。……神はすぐそこにおられます。どこ？ 貧しい人びとの中に、私の家族の母、兄、妹、夫や妻の中に。そこにいらっしゃるのです。

(マザー・テレサ『生命あるすべてのものに』)

恵まれた人たちからの経済的な助けを必要とする社会的弱者。

血縁でつながった家族や親族、あるいは同一の民族に属する人間。

同じ神を信じ、互いの利益をはかり合う宗教的な共同体のメンバー。

様々な状況において出会い、神の愛の下でともに生きる人間

問8 下線部(d)のイエスの神観として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。  
[9]

裁きの神

子なる神

父なる神

妬む神

問9 下線部(e)の人間の平等観にもとづくイエスの言行についての記述として最も適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 10 ]

( 2002 年センター追試験より )

神は律法を守った人だけを祝福するのではなく、落ちぶれて帰還した放蕩息子を再び迎え入れる父のように、無償の愛を万人に及ぼしていると教えた。

自らメシア(キリスト)と称して、すべての人が生まれながらに負っている罪から救われるには、十字架の贖いを信じるしかないと主張した。

「何事でも人々からして欲しいと望むことは、人々にもその通りにしなさい」と命じ、相手の立場に身を置いて人に接するように教えた。

当時の社会で嫌悪されていた徴税人や罪人と食事をともにするなど、当時のユダヤ教の社会規範に反してまでも、被差別者とともに生きようとした。

問10 新約聖書に含まれる書物として正しいものの組み合わせとして、最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 11 ]

- |           |   |            |   |             |
|-----------|---|------------|---|-------------|
| マタイによる福音書 | - | 出エジプト記     | - | エレミア書       |
| マルコによる福音書 | - | 使徒言行録      | - | ヨハネの黙示録     |
| ルカによる福音書  | - | 創世記        | - | コリントの信徒への手紙 |
| ヨハネによる福音書 | - | ローマの信徒への手紙 | - | 申命記         |

第 2 問 次の文章を読み下の問い（問 1 ～ 問 1 2 ）に答えよ。（配点 26）

イエスの直弟子 (a) ペテロ、ヨハネ、ヤコブを中心とする使徒たちは、(b) 復活の信仰に支えられながら、(c) イエスこそキリストであるという宣教に立ち上がり、新しい信徒を獲得しながら教勢を伸ばしていった。しかしユダヤ教指導者の圧迫の手は、彼らのうえにも厳しかった。彼らは次々と殉教者を出しながらも、追跡を避けながらの伝道は、かえって地域を広げ、北はサマリアからシリア、南はアフリカ、西は小アジアに至った。

キリスト教をユダヤ教の枠から決定的に解放し、人種的にも地理的にも世界宗教へと飛躍させたのは(d) パウロの伝道である。パウロは、ローマの市民権をもつヘレニズムの教養を身につけた人物であったが、同時に厳格なユダヤ教徒としての教育を受け、[ 12 ] 派に属した。彼もまた初めは、律法をないがしろにするキリスト教を敵視し、迫害の先頭にたった。

初代教会は、ユダヤ教とローマ政府の双方から迫害されたが、ユダヤ教の会堂、個人の家、カタコンベ（地下墓所）などで集会を行い、その組織を整えていった。また神学的にも、パウロ、長老のヨハネの指導のもとに、『新約聖書』時代に、イエスの神格化、キリストの贖罪による神との和解といったキリスト教神学の基礎が固まっていった。

2 世紀以後、教会は組織を整え、経典としての『新約聖書』を編纂し、ユダヤ教から受け継いだ聖書に『旧約聖書』としてキリストの準備の書としての位置を与え、ともにカノン（聖典）として採用した。

古カトリック教会は教会制度の整備とともに、異端を排除しながら正統神学の確立に努めた。キプリアヌスのほかユスティノス、アレクサンドリアのクレメンス、オリゲネスなどの教父たちは「護教派」とよばれる。彼らは、キリストの歴史性を否定する (e) グノーシス派、キリストの神性を認めないアリウス派に対して、キリストの神性と歴史性を同時に強調した。この神学は、「父なる神」「子なる神」「聖霊の神」の三つの神格（位格）が一つの本質として一体をなすという(f) 三位一体説を中心とする教説を形成させた。教会は宗教会議を重ねて、カトリック神学と組織を固め、325 年のニカイア公会議では、アリウス説を異端として退け、神の子キリストは父なる神と本質的に同質の神格を有することを確認した。

カトリック神学はすでに 4 世紀 (g) アウグスティヌスがその基礎を据えたが、中世のスコラ学派によって完成される。「哲学は神学の婢」はその基本精神を表す。「知らんがために信ずる」の語で知られる [ 13 ]、またボナベントゥラ、ロンバルドゥスなどがスコラ神学を体系化した。これを完成したのは (h) トマス・アクィナスである。彼によってその権威を裏づけられた秘蹟は、1439 年の宗教会議で、「洗礼」「堅信」「聖体」「悔悛」「終油」「品級」「婚姻」の七つに定められ、神の恩寵は、キリストの体としてのカトリック教会による秘蹟を通してのみ与えられるとされた。

問1 文中の [ 12 ] [ 13 ] に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの ~ のうちから一つずつ選べ。

[ 12 ]       サドカイ            パリサイ            ネストリウス            グノーシス

[ 13 ]       オッカム            アンセルムス            テルトゥリアヌス            アンブロシウス

問2 下線部(a)ペテロに関して、その生涯を説明する記述として最も適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [ 14 ]

ガリラヤ湖のシモンという名の漁師だったがイエスの弟子となった。

イエスとともに逮捕され、ポンティウス・ピラトによって民衆の前で裁かれた。

イエスにより教会の「岩」と呼ばれ、十二使徒の長であった。

ローマ皇帝ネロの迫害にあつて殉教したといわれる。

問3 下線部(b)復活の信仰に関して、その説明の記述として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [ 15 ]

イエスの復活は、人間にとっても死が終わりではないことを保証するものである。

イエスの復活は、善なる神に対抗してきた悪なる神への勝利を意味する。

イエスの復活によって、人間は悔い改める必要がなくなった。

イエスの復活によって、人間は転生の希望を持つことができるようになった。

問4 下線部(c)に関して、弟子たちが宣教へと立ち上がったのはいつからだったと伝えられているか、最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [ 16 ]

聖霊降臨            主の昇天            最後の晩餐            主の復活

問5 下線部(d)のパウロについて、その基本思想として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [ 17 ] (2005年センター本試験より)

人間は律法の行いによってではなく、イエス=キリストを政治的指導者として崇めることによって、罪から救済される。

人間は律法の行いによってではなく、イエス=キリストによる教説を知ることによって、罪から救済される。

人間は律法の行いによってではなく、イエス=キリストによる贖罪を信じることによって、罪から救済される。

人間は律法の行いによってではなく、イエス=キリストを偉大な預言者として敬うことによって、罪から救済される。

問6 次の文はパウロの手紙の一部だが、文中の空欄 [ A ] に入る言葉として最も当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [ 18 ]

たとい私に預言する力があり、あらゆる奥義とあらゆる知識に通じていても、また山を移すほどの強い信仰があっても、もし [ A ] がなければ、わたしは無に等しい。

信仰            希望            愛            癒し

問7 下線部(e)のグノーシス派について、その説明の記述として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [ 19 ]

キリストは人間としての肉体と魂を有するが、理性に当たるものは神のロゴスである。旧約の神と新約の神は別の存在であり、キリストは肉体的存在ではなく霊的な存在である。

キリストの神性と人性は別の位格であり、聖母マリアは「神の母」ではなく「キリストの母」である。

受肉以前のキリストにおける神性と人性の両性は、受肉後に神性が人性を吸収して単一の性になる。

問8 下線部(f)の三位一体説について、ニカイア公会議でその主張をした人物名として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [ 20 ]

ネストリウス            アタナシオス            エウテュケス            アポリナリオス

問9 下線部(g)のアウグスティヌスについて、彼の原罪についての考えを説明したものとして最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [ 21 ] (2005年センター追試より)

すべての人間は、原初の人間のふるまいに起因する不道德な欲望、つまり原罪を負っている。それゆえ人間は、理性の指導に従い神の实在を論証していく過程を通して、この欲望から解き放たれていき、やがて救済される。

人間は、天地の初めから、生まれつき自己中心的な性質を神に負わされている。その性質こそが原罪である。人間は自らの自由意志によって神への信仰を選び取り、それを通して神の恩恵を獲得しなければならない。

この世は善と悪という対立し合う二つの原理から成り立っており、すべての人間は悪の原理、つまり原罪に支配されている。人間は、神に従順であった頃の原初状態へと復帰し、そこに全面的に没入することで救済される。

原初の人間が自由意志を悪用して神に背いたため、すべての人間は生まれつき原罪を負っている。それゆえ人間は自由意志によってではなく、神からの一方的な恩恵によってのみ救済され、善に向かうことができるようになる。



問10 下線部(g)のアウグスティヌスについて、その思想形成上大きな影響を与えた哲学として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[22]

アリストテレス主義          スコラ哲学          新プラトン主義          ストア哲学

問11 下線部(h)のトマス・アクィナスについての記述として、最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[23](2003年センター本試験より)

信仰と理性の区別を体系的に論じて、信仰の優位のもとで両者の統合を試み、倫理思想に関しても自然的徳は神の恩恵によって完成されるとした。

信仰と理性は相互に分離された異質な領域に属しており、神にかかわる信仰的实践を哲学によって基礎づけることはできないとした。

一切は神から必然的に生じるものであり、倫理的問題に関しても、永遠の相のもとで事物を考察することによって判断されなければならないとした。

人間の救済と滅びは神によってあらかじめ決定されており、人間は合理的で正しい行為によってもその決定を変更することはできないとした。

問12 文中の下線部(b)に関連して、スコラ哲学最大の論争といわれる普遍論争に関する説明として適当でないものを、次の ~ の中から選べ。[24]

普遍は自然的実在であるとする説を実念論という。

普遍は「名称」にすぎず、実在するのは個物だけであるとする説を唯名論という。

トマス・アクィナスは唯名論をとらえた。

アンセルムスは実念論をとらえた。

第3問 次の文章を読み下の問い(問1～問17)に答えよ。(配点40)

古代インドでは、ブッダの出現するはるか以前すでに、この地に侵入した[ 25 ]人によって、祭式を重視するバラモン教が形成されていた。紀元前7～6世紀ごろになると、この祭式中心のバラモン教の中から、その後のインド思想の展開に大きな意味をもつことになるウパニシャッド哲学が誕生した。

ウパニシャッド哲学ではつぎのように説く。この世の中には、どんな現象にもけっして動かされない絶対的なものが存在する。しかもすべてのものはこの絶対的なものから生まれたものであるから、それはわたしたち自身の奥底にひそむ真実の自己でもある。(a)この真実の自己を自覚すれば、この世で絶対的なものと合一し、この合一によって[ 26 ]を絶ち、その苦しみから解き放たれて、永久の楽しみの世界にはいることができる、と。これを梵我一如の思想という。そして、この真実の自己を自覚するためには、欲望にとらわれている小さな自我を否定しなければならないとし、きびしい苦行や禁欲を説いた。

このウパニシャッド哲学が花開いたのち、その精神を背景としつつも、バラモン教の伝統にとらわれず自由にものを考える(b)さまざまな思想家がつぎつぎとあらわれた。仏教の開祖、(c)ゴータマ・ブッダ(本名はゴータマ・シッダッタ)もその一人である。

ゴータマ・シッダッタは35歳の時にブッダガヤーの菩提樹の下で禅定に入っているとき、(d)苦悩の起こる原因と、その克服に関する真理を悟って仏陀となったといわれる。その後、彼は(e)鹿野苑で最初の説法を行い、大勢の弟子たちが集まり教団を構成したが、ブッダの死後約100年後に教団は分裂し(f)部派仏教の時代となった。紀元前3世紀、マウリア朝のアショーカ王によりインド各地や東アジアに伝播され、紀元前後には(g)大乘仏教が発生。部派仏教は小乗仏教とよばれ、スリランカ、ミャンマー、タイなど南アジアを中心に広まり、大乘仏教は中央アジア、中国、チベット、朝鮮、日本へと伝わった。

しかし7世紀以降、仏教の勢力は低下し、ヒンドゥー教の勢力が伸張する中で、8世紀になると(h)密教が成立し、しだいにインドの土着的要素やヒンドゥー教と融合していくうちに独自性を失っていった。1203年にはイスラム教徒のために、仏教の一大中心地であったピクラマシラー寺を破壊され、仏教修行者の拠点を失い、仏教はインド社会の表面から消滅した。

問1 文中の[ 25 ][ 26 ]に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの～のうちから一つずつ選べ。

- |        |      |       |      |      |
|--------|------|-------|------|------|
| [ 25 ] | ギリシア | ドラヴィダ | インド  | アーリヤ |
| [ 26 ] | 輪廻転生 | 一切皆苦  | 梵我一如 | 無間地獄 |

問2 下線部(a)の「真実の自己」と「絶対的なもの」にあてはまるものの組み合わせとして最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 27 ]

	「真実の自己」	「絶対的なもの」
	アートマン	ブラフマン
	ブラフマン	アートマン
	アフラマズダ	アーリマン
	アーリマン	アフラマズダ

問3 下線部(b)のさまざまな思想家の一人、ヴァルダマーナ(マハーヴィーラ)の思想についての説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 28 ]

どのような修行を行ってもだれも輪廻から解脱することはできない。

生きものを傷つけてはならず、欲望を押さえるべきである。

人間の運命はあらかじめすべて決定している。

善・悪二つの神が存在し、その争いが歴史である。

問4 下線部(c)ゴータマ・シッダッタの出身ヴァルナとして最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 29 ]

バラモン              クシャトリア              バイシャ              シュードラ

問5 ゴータマ・ブッダはウパニシャッド哲学を批判し、諸法無我の教えを説いた。これに結びつく思想として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 30 ]

あらゆる現象はうつろいゆくもので、常住のものは何一つない。

個人は物質的な要素の集合としてあり、固定的実体的なアートマンは存在しない。

個人の本質は霊魂であり、その霊魂が輪廻転生の主体となっている。

あらゆる現象は絶対者の自己展開であり、固有の存在性をもつものではない。

問6 次の文の空欄 [ 31 ] に入る最も適当な語句を、下の ~ のうちから一つ選べ。

仏教では真理を悟ることに直接の目標が移行し、悟りの完成者たるブッダ(仏陀、仏、覚者)がその理想像となった。同時に真理こそ永遠不変の絶対的価値で、釈迦はただそれを発見し、人々にそれに至る道を教えた仲介者にすぎない。人はその教えに従って、覚者となるべく修行する。真理が絶対で、ブッダを通じて開顕されるということは、真理がキリスト教などの 神 の地位に代わるものであることを示す。しかし、仲介者、教主としてのブッダはキリスト同様一人であるとしても、覚者たることが万人に開かれているのは、絶対者が非人格的な真理である点とともに、仏教の特色である。ここでいう釈迦が悟った真理を仏教では [ 31 ] と呼び、仏の教えはその真理を内容とするので、同じく [ 31 ] と呼ばれる。

涅槃(ニルヴァーナ)

解脱(ムクティ)

梵(ブラフマン)

法(ダルマ)

問7 下線部(d)苦悩の起こる原因についての仏教の考え方の説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 32 ](1999年センター本試験より)

苦の原因は、自分でないものを自分と思うところにあるが、自分といわれるものは、自他の区別を可能にする原因や条件の背後にある根元的なものであると認識されなければならない。

苦の原因は、自分でないものを自分と思うところにあるが、我々の本質をなす自分といわれるものは、存在するともしないとも言えない不可知的なものであると認識されなければならない。

苦の原因は、自分が何であるか知らないという点にあるが、すべて存在するものは原因や条件に依存する相対的なものであり、自分といわれるものも変化する相対的なものであると認識されなければならない。

苦の原因は、自分が何であるか知らないという点にあるが、自分といわれるものの本質は、この世界のものを存在させる原因や条件の相対的あり方を超越したものであると認識されなければならない。

問8 下線部(e)のブッダの最初の説法をあらわす言葉として正しいものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 33 ]

初転法輪

降魔成道

四門出遊

釈尊入滅

問9 次の文中の空欄 [ 34 ] ~ [ 36 ] に入る最も適当な用語を，下の ~ のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

人生には生老病死の四苦のほか，愛しい人に別れ，怨み憎しみある者に出会い，求めるものは得られず，この身は無常な諸要素つまり，[ 34 ] 肉体と感覚，表象，意思，認識の諸心理作用 の集合にすぎない，という合計 8 種の苦悩がある。この苦を集め起こすもの，つまり苦の原因としては，煩悩と総称される心のけがれ，すなわち貪，瞋，癡などがある。[ 35 ] とは無常，無我といった真実を知らないことで，ときにはこれが悪の根源とみなされる。欲望や執着はすべてこの [ 35 ] の結果おこるとみるのである。苦の滅，涅槃寂靜が理想であること。これは [ 35 ] がなくなったとき，つまり真実を知ったとき，悟ったときに実現する。この，苦の滅を達成するために実践すべき方法を [ 36 ] という。

渴 愛	空	無 明	四法印	苦 諦
五 蘊	三 毒	八正道	集 諦	

問10 ゴータマ・ブッダの教説として最も適当でないものを，次の ~ の文のうちから一つ選べ。[ 37 ]

あすのことを思いわずらうな。あすのことはあす自身が思いわずらうであろう。一日の苦勞は，その日一日だけで十分である。

怨みに報いるに怨みをもってしたならば，ついに怨みのやむことはない。怨みを捨ててこそやむ。

泣き悲しんでは，心の安らぎは得られない。ただ彼にはますます苦しみが生じ，身体がやつれるだけである。

生まれによってバラモンとなるのではない。行為によって賤しい人ともなり，行為によってバラモンともなる。

問11 下線部(f)の部派仏教の教説として最も適当なものを，次の ~ のうちから一つ選べ。[ 38 ]

まだ肉体が存する阿羅漢の境地は肉体的苦痛が存するので不完全であり，阿羅漢の死後に完全な涅槃があるとした。

陀羅尼を繰り返しとなえれば雑念がなくなって禅定に入り，その結果，いっさいの言語説法を記憶する力を得る。

阿弥陀仏の極楽浄土の莊嚴を説き，次にその浄土に往生するために阿弥陀仏の名号を唱えることをすすめた。

禅定の実践を通して，すべてが意識の作用であることを認識し，心の他に存在が実在すると考えてはならない。

問 1 2 下線部 (g) 大乘仏教の教説として適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 39 ]

経典は読誦したり、書写することにも功德がある。

慈悲の心を持って衆生の救済につとめることを優先して悟りをめざす。

すべての生きとし生けるものは仏となる本性を備えている。

食事は托鉢によって午前中に終わらせ、食事の貯蔵をしてはならない。

問 1 3 六波羅蜜の説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[ 40 ]

六波羅蜜とは阿羅漢修行者が完成させるべき六つの実践徳目である。

その六種とは、布施、持戒、忍辱、精進、禅定、慈悲である。

単に自分だけではなく、他の人々のためのものとなってはじめて波羅蜜といいうる。

鎌倉幕府が京都の六波羅に置いた機関、およびその長のことである。

問 1 4 般若経の説明として間違っているものを、次の ~ のうちから一つ選べ。  
[ 41 ]

般若経典では真理への智慧が強調され、経典そのものには呪術的效果を見いだせない。

般若波羅蜜多心経は唐の玄奘三蔵によって中国語に翻訳された。

何のものにもとらわれない空の立場に立ち、六波羅蜜の実践が強調される。

初期の大乘仏教経典の一つで、単一の経典ではなく諸種の般若経典を総称したものの。

問 1 5 大乘仏教の思想家、ヴァスバンドウ（世親）の思想の説明として最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[ 42 ](1995 年センター追試験改題)

法華経に深く傾倒し、すべての人が仏になれるとする一乗思想を強く主張した。

すべての事物は、認識する心の働きの所産にすぎず、実在しないとする唯識の思想の発展に大きな貢献を果たした。

自己の内なる仏性を確信して、ひたすら坐禅に徹することが肝要であるとする、禅の思想を体系化した。

縁起説を深化・発展させ、すべての事物は因縁によって生じたもので、固定的な実体を持たないとする空の思想を理論化した。

問 1 6 大乘仏教の思想家、ナーガールジュナ（竜樹）の思想の説明として最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[ 43 ]

事物の存在の実相は空であり、それは対立の一方に執着しないから中道である。

命あるすべてのものは、ことごとく仏となりうる可能性を有する。

禅定という実践を通して、識のあり方を汚れた状態から清浄な状態へ変革することを

究極の目的とする。

人間の苦の直接の原因は誤った業であり，その原因は煩惱であるゆえ，苦からのがれ涅槃の境地を得るためには，煩惱を断ずればよい。

問17 下線部(h)について，密教の説明として適当でないものを，次の ~ のうちから一つ選べ。[44]

仏菩薩を一定の枠に配置して図示した曼荼羅によって，宇宙の真理と宗教体験の絶対世界を表現する。

仏・菩薩の姿や功德を心におもい浮かべたり，またその名号を口に唱えることにより浄土への往生をめざす。

身・口・意の三密という神秘的な行により，修行者が大日如来と一体化し，即身成仏できる。

広く民衆に開かれている顕教に対して，非公開的な教団の内に閉鎖し，秘密の教義と儀礼を師資相承によって伝持しようとする秘密仏教。

問題はまだまだ次のページに続きます。

第4問 次の文章を読み下の問い(問1～問6)に答えよ。(配点12)

古代中国人は、敬天と崇祖の念にもとづいて「礼」を尊んだ。祖先の霊は子孫に対する善意に満ちたものである。礼にしたがって祭りを行えば、祖先は子孫に祝福を与える。このように礼は、祖先を祭る祭儀として発達したが、やがて、それが人間の日常生活の習慣や規範として発達した。こうして、礼は宗教的慣習としてだけでなく、人間の日常ふみ行うべき道徳とされるようになった。周の時代になると、文王と[ 45 ]によって礼楽の制度が確立され、礼はさらに国家社会の秩序を維持する法律制度となってくるのである。このことは、周末から秦・漢の時代までの古礼を集めた(a)『礼記』の中に明らかに示されている。「道徳と仁義は、礼によらなくてはならない。教訓や正しい風俗は礼によらなければ完備しない。争いや議論は礼によらなければ決着がつかない。君臣・上下、父子・兄弟の関係は、礼によらなければ定められない」。これによって、礼というものが中国人の信仰・道徳・習慣・法律などの根源であり、社会秩序の原理となり法則となるものであったことがわかる。

春秋戦国時代(紀元前8世紀～前3世紀)になると、古い礼はくずれて、社会の秩序が動揺してきた。この時代、諸侯たちは自分の国をつよくするために、競って学者の意見を用いたので、思想や文化が栄え、(b)諸子百家といわれるさまざまな思想家たちが輩出した。このうち、中国古代の思想を代表する最大のものが孔子(552?～479? B.C.)を祖とする儒教思想である。

問1 文中の空欄[ 45 ]に入る人名として最も適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。[ 45 ]

堯 舜 禹 周 公

問2 下線部(a)に関して、『礼記』以外の五経の経典として適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。[ 46 ]

中 庸 大 学 春 秋 論 語

問3 下線部(b)諸子百家に関して、墨家の思想の説明として適当でないものを、次の～のうちから一つ選べ。[ 47 ]

近親重視の別愛ではなく、自他無差別にひろく愛し、互いの利益を実現すべきである。  
人を一人殺せば不義であるのに、戦争によって多くの人を殺すことを不義としないのは間違っている。

儒家の礼楽は無益であり、人民の利益にはならないので、人々の衣食住を満たすため費用の節約を勧める。



本来の自然の道が廃れたために仁義という次善が説かれるのであり，知恵者があらわれたからひどい偽りも行われるようになった。

問4 下線部(b)諸子百家に関して，韓非子の思想を述べたものとして最も適当なものを，次の～のうちから一つ選べ。[48](1997年センター追試より)

君主自らの道徳的權威による王道政治を説いた。

格物致知を基本とした平天下の理念を説いた。

法律によって人民を統治する法治を説いた。

少数人民による共同体的な寡民政治を説いた。

問5 下線部(c)の孔子が説いた仁の実践として最も適当なものを，次の，次の～のうちから一つ選べ。[49](2005年センター本試験より)

自分勝手な欲望に打ち勝ち，古の理想的な行動基準に自分を従わせる。

人間の道徳性を現実化しようとする，根源的な氣力を養い育てていく。

柔和でへりくだった態度をとり，周囲の人と極力争わないように努める。

名称とそれが示す具体的な事柄とを一致させて，社会秩序を強固にする。

次のページが最終問題です。

問6 仏教は中国に広まったが、詩人白楽天は禅僧道林に、仏教とは何かと尋ねた。道林は原始仏典の『ダンマパダ(法句経)』以来説かれるアのことばを踏まえて、イのように白楽天に回答した。道林の最後の答えの趣旨として最も適当なものを、下の ~ のうちから一つ選べ。[50](2000年センター追試験より)

ア

諸々の悪をなすなかれ諸々の禅を行ぜよ。

自らその意を清めよ、これが諸々の仏の教えである。(「七仏通戒偈」)

イ

白楽天： 仏の教えとは一言で言うとは何でしょう。

道林： 悪いことをせず、善いことを行うことである。

白楽天： そんなことは三歳の子供でも言えますよ。

道林： 三歳の子供でも言えるというが、八十の老人でもこれを実践することはむずかしいのである。(『景德伝燈録』巻4)

子供は素直で自然によいことができるが、大人には煩惱が多くむずかしいのである。善悪は相対的であり、状況に応じて善悪の判断をすることはむずかしいのである。修養して心が清らかでなければ、善いことを自然に行うことは難しいのである。仏教は儒教とは異なるから、両者になかった善いことを行うことがむずかしいのである。

問題はここまでです。お疲れ様でした。